**日本の詩**

**俳句とは？**

5･7･5の17音を定型とする世界でもっとも短い詩として（＝で）知られています。季題によって自然の風物、人事をよみ、 俳句を読む人のことを特に俳人といいます。俳句は俳諧から発句が独立したもので句中か句末に特別な文字でおわる「\*切れ字」と、特定の季節を表す「\*季語」を入れることが伝統的な俳句の規則となっています。

かがみもち (5) 　カビがはえてる (7) 　生きてるな (5)

作品出所：<https://www.itoen.co.jp/new-haiku/15/unique.html>

星の夜は (5) 　　暗闇までも (7) 　　　透き通る (5)

ほしのよは　　　 くらやみまでも　　　　　すきとおる

作品出所：<https://www.itoen.co.jp/new-haiku/15/monbukagaku.html>

**\*切れ字** : 俳句は俳諧からきたもので俳句が一つの句として独立するために言い切る働きをするものである。現代の俳句では、「や」「かな」「けり」の三つの切れ字が使われている。

**\*季語 :** 俳句において用いられる季節を表すことば。**「かがみもち」**は冬を、**「星の夜」**は秋を表す季語である。

**川柳とは？**

川柳は俳句と同じ 5･7･5の音数律をもちますが、俳句に見られる季語や切れ字などの約束がありません。現在では口語が主体であり、自然を対象にする俳句と違って人事や、人情などがテーマ（題材）としてよくわれます。

**川柳紹介**

LINE鳴る　 　　既読付けるか　　　 心理戦

ラインなる(5) 　きどくつけるか(7) 　しんりせん(5)

あたり前　　　　 じゃないと知った　　　　震災後

あたりまえ(5)　 じゃないとしった(7)　　　しんさいご(5)

作品出所：http://www.fukuoka-u.ac.jp/unv\_gide/fkus/senryu2016/prize.html